

広報
第56号

上野東部だより

2023年12月1日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ヶ丘東町920
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999



残暑まだまだきびしく、真夏日の9月16日(土)午前10時～11時30分、伊賀市民体育館で、東部地区内にお住まいの小学3年生以下とその家族を対象に、東部地区民生委員児童委員協議会主催の「親子の集い」が開催されました。昨年の参加者は54名でしたが、今年はまだまだコロナ禍の中、その3倍近くの140名以上の親子が来場されました。

「親子の集い」は、みんなで楽しく遊びながら、仲間づくりや情報交換を行い、地域の方同士が顔見知りになり「交流の場」となる目的で2014年から毎年開催してきました。

会場では「ストラックアウト」、「カローリング」、「輪なげ」、「バルーンアート」、「ボールボードゲーム」、「かさ袋ロケット」、「お菓子コーナー」等7つのコーナーを廻って楽しみました。

毎年好評の「バルーンアート」コーナーへは、開会式が終わった後、親子連れが一目散に駆け寄り、自分の好

きな風船を探してゲットしていました。

昨年もたいへん人気のあった、かさ袋をつかったロケット風船をつくるコーナーでは、自分でシールをはったり、絵を描いたりしてロケットをつくり、完成するとどこまで飛ぶかを競う等、親子で楽しむ姿が見られました。

保健相談コーナーでは、久しぶりに身長を測定して大きくなったと喜んでいる子どもたちがいて、また保健相談もあり、役にたちましたと話していました。

このイベントに初めて参加した外国人の家族は、「ボールボードゲームが楽しかった、学校で知った、来年もまた来ます」と言っていました。

今年の親子の集いは、「ハグしちゃおう」ダンスをみんなで元気よく踊り、終了しました。

民生委員児童委員の方々は、「参加人数が多かったので開催してよかった」、西口会長は「地域の方々とふれあうことができ、子どもさんから元気をもらえてよかったです」と話していました。

〈取材：縄手 稔〉

第16回東部地域防災フェスタ



東部地域
住民自治協議会
南会長



防災防犯
交通安全部
村田部会長



伊賀消防署
上田署署長

10月29日(日)、秋晴れの中、東部地区市民センター及び伊賀市民体育館で、「第16回東部地域防災フェスタ」を実施しました。4年ぶりに一般の方も参加しての防災訓練となりました。

16の自治会から403名(内子どもの参加:91名)が参加されました。参加者の中には車椅子の方もみられました。

今回の防災訓練は、自主防災の住民の意識を高めていくという目的で伊賀市役所及び伊賀消防署の全面的協力のもと訓練が行われました。今回の防災訓練の特徴として、子どもの参加者を促し、家族また地域全体での防災意識を高めていくことを強調されていたように感じられました。子ども向けの「お菓子バッグをつくろう」「消防服を着用しての消防団積車の乗車」「高所作業車の14m昇降体験」等興味深い体験訓練がありました。

子供、大人が一体となり、イザというときのために体験かつ継続的に防災訓練していくことの重要性を痛感した1日でした。



煙道体験

煙からの脱出は、低い姿勢で壁にそって、
ハンカチかタオルで口を覆い、
すみやかに抜けてください!

実際にテント内に入ってみると、まったく先が見えなくなるよう、体験した子どもの感想は「何も見えない中で声だけ頼りに前へ進んだ」でした。なかなか、出てこなかった子供もいました。

「もしも」の時の「お菓子バッグ」を作ろう!

災害時には、子どもたちの非常食にもなるお菓子を、子どもとお母さんが大好きなお菓子を選んで「お菓子バッグ」を作りました。



防災お菓子バッグを作ろう

高所作業車で14mの高さの昇降体験！

高所作業車のゴンドラでヘルメットと安全帯を着用して14m上昇旋回を体験しました。

体験した子どもは「下にいる人が蟻のようにみえた」と興奮して話してくれました

新聞紙でスリッパ！

イザという時の災害に備える。身近にある新聞でスリッパを非常靴として備える。それを使い、卵の殻の上を歩くことを体験しました。「このスリッパを履いて殻の上を歩いても痛くなかった」と子どもの感想でした。



新聞紙のスリッパで非常靴



高所作業車での昇降体験



消防服を着て消防車に乗ったよ

消防団積車の乗車体験！

子どもたちが消防服を着て、実際に消防団積車に乗ってみました。「楽しかった」と子どもらしい感想を言ってくれました。

消防車を身近に感じて、防災意識が高まったと感じました。

車椅子は正しい使用で！

災害時には高齢者、障がい者は置き去りになる場合が発生します。しかし、地域のみなさまが生きのびなければなりません。その助けになる車椅子の正しい使用法を学びました。地域全員が生き延びるために新しいことを学び、実際に生かしましょう。

最後に、防災防犯交通安全部会のみなさま、伊賀消防署、そして関係部署のみなさま、いろいろ工夫して新しい体験訓練を経験させていただきました。本当にありがとうございました。地域全体に広めていく使命感を痛感しました。



新鮮市の開催も！

防災訓練で疲れた参加者は、美味しいパン、ケーキ、そして新鮮な野菜、柿をたくさん買い込んで家へ帰っていました。パンを食べて、家族で防災訓練の話で和んでいただけましたか。

〈取材：山本 史規〉

浴衣を着て踊つて、
みんなで楽しもう！

2023上野車坂町盆踊り大会



4年ぶりに開催



スーパー ボール すくい



行列ができる



かき氷・綿菓子ブース



桜川好玉会のみなさん

残暑きびしい日でしたが、天候に恵まれ、8月26日（土）午後6時から東お旅所で上野車坂町自治会主催、「矢車会」、「児童福祉会」協力で盆おどり大会がコロナ感染のため4年ぶりに開催され、過去最高の350名余りが来場しました。

午後6時から模擬店がスタート。「綿菓子」「かき氷」「スーパー ボール すくい」「やきそば」「フランクフルト」「生ビール」いずれも行列ができていました。うちわの無料配布もありました。

午後7時より桜川好玉会（代表 桜川好玉）8名の音頭取りにより江州音頭がスタートしました。

江州音頭を50年以上唄っている地元メンバーと本場滋賀県東近江市からのメンバーが加わり盆おどりがはじまりました。初めは踊る人の輪が小さかったのですが、どんどんと大きな輪となり、大盛況の中夜が更けていきました。

安全確保のため警備保障の方々、東部地区の消防団の身守りもあり、無事、安全に終わることができました。子どもたちは夏休みのよい思い出となり、また町内の皆さん、近隣の方々が顔合わせをして楽しく過ごせました。今後も2年毎に開催予定のこと、楽しみにしたいと思います。

〈取材：縄手 稔〉

北向水掛け地蔵尊 (上野伊予町)

上野伊予町の薬師寺近くに祀られている地蔵さんで水をかけながらお祈りすると願いを叶えてくれる地蔵さんとして知られ、無病息災、家内安全を願う地域の守り神として上野伊予町地蔵尊奉賛会をはじめ地域の人びとに大切にお祀りされています。その名のとおり、お地蔵さんは北を向いています。このお地蔵さんは、昭和2年頃から下水工事が始まり、当時薬師寺の東側に石の橋がかかっていてその下に5、6段積み上げられた石桁を取り除く作業をしていた時、一体の石仏が現れ、仏像の右側に塔の形が刻まれており非常にめずらしく、現在の地にお祀りされました。年々参拝者は町内や附近の住民はもとより遠方からの信仰者も増えています。



城山地蔵尊 (上野寺町)



上野寺町通りの7箇寺のある一番南に城山地蔵尊が祀られています。上野公園内



にあった平楽寺・薬師寺に祀られていた地蔵さんを移して大超寺に祀ったのがはじまりだそうで、延命地蔵尊として多くの信仰を集めています。



延命厄除地蔵尊 (上野玄蕃町)

上野玄蕃町にある地蔵堂の中に3体の地蔵さんが祀られています。願いごとをすればご利益のある地蔵とされ、地域の人びとに大切に祀られています。



厄除延命地蔵尊 (上野赤坂町)



赤坂の道標を左に折れ、坂を下ったところに「赤坂地蔵」と呼ばれる厄除延命地蔵尊が祀られています。3体の地蔵が納められた石造りのお堂の横には13体



の地蔵があります。中には道祖神も祀られ、厄除けや子孫繁栄を祈願する村の守り神として道の辻に祀られてきたそうです。

ついに完成 「東小学校西側の歩道拡幅工事」

東部地域の通学路の安全確保について以前から市側に要望してまいりましたが、ついに本年8月に完成しました。これも市関係者の皆さん、並びに地域の方々のご協力のたまものと感謝いたしております。

当歩道は、学童のみならず地域の皆様の通行も容易となります。また歩道柵も強固なものが設置されており、通行車両からの接触も防御できます。

当地域と致しまして、道路の安全確保の為、計画的に実施していきたく思いますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

東部地域住民自治協議会 会長 南 徹雄



編集後記

パ・リーグのオリックス・バファローズとセ・リーグの阪神タイガースという、関西の球団同士で争われたプロ野球の日本シリーズは、阪神が激闘の末、対戦成績4勝3敗で38年ぶり2度目となる悲願の日本一を達成しました。第6戦目までスコアが同点、ほぼ互角で一歩も譲らない試合の連続に、プロ野球ファンのみならず、あまり野球に興味のない方でも思わずチャンネルを合わせてしまった方もいたのではないでしょうか。この両チームの優勝・関西対決により、経済効果は約1400億円あったと推計されていますが、阪神が日本一となったため、今後それを上回ることが予想されています。伊賀は関西に接し、虎党も多い土地柄。これを機に経済が上向き、明るいニュースが増えれば嬉しいですね。今年も「上野東部だより」をお読みいただき、ありがとうございました。

(幸田知春)

教育文化視察研修

9月3日(日)、4年ぶりに視察研修を行いました。来年の大河ドラマ、世界最古の女性文学と言われる「源氏物語」を書いた紫式部が構想を練ったと伝わる大津の「石山寺」と、源氏物語を身近に学べる宇治の「源氏物語ミュージアム」へ研修に行きました。

当日は、9月というのに35℃の気温で、さらに石山寺は急な坂できつかったのですが、展示館内はホッとさせてくれるオアシスでした。湖国琵琶湖の素材を集めた昼食をとった後、場所を宇治の「源氏物語ミュージアム」へ移動し、人形劇と現代風のアニメーションで、源氏物語の一部を分かりやすく学ぶことができました。

とても暑い日でしたが、体調を崩された方もなく、来年の大河ドラマを見るのを今からワクワクしながら帰路につきました。



(東部地域住民自治協議会ホームページより抜粋)

東部自治協
ホームページは
こちらから▼

